



新潟支部会報

一般社団法人 大学女性協会新潟支部
2026 年 8 月 No.17

目次

支部総会報告	1 頁	J カフェにご注目	4 頁
全国総会・UWAsia 総会参加報告	2～3 頁	支部の動き お知らせ	4 頁

2026 年度新潟支部総会 報告



日時: 2026 年 4 月 25 日(土)14:00～16:00 会場:クロスパルにいがた

第 I 部 講演 ワンランク上を目指す研究室～佐藤拓一研究室の取り組み～

佐藤拓一さん 涌井杏奈さん 河内美帆さん



あたたかな春の陽射しのもと、新潟大学大学院医歯保健学研究科臨床化学研究室の佐藤拓一教授と、支部奨学賞受賞者で会員の涌井さん、河内さんの講演を開催。画像資料を用い、大学院で学ぶことの魅力を中心にお話いただきました。

佐藤ゼミ卒業生で、大学教員として働く涌井さんと河内さんの体験談は、大学院で学ぶ女性のロールモデルとして挙げるにふさわしく、リアルで具体的な「若手女性研究者」の活躍の様子が伺えました。

佐藤ゼミは大学院の魅力発信を広報活動だけでなく、学部生を研究に参加させたり、新潟ジュニアドクター育成塾など科学人材育成取組への参画で女子中高生の理系進路選択を支援し「女子学生の高等教育の推進」を実践されています。当会の活動目標と重なり、深く共感するとともに興味深い学びとなりました。

いつも私どもの活動を応援してくださる佐藤先生のおかげか、終始和やかな雰囲気の講演会で支部総会が華やぎました。(大淵)

第 II 部 議事

◆議案◆ 議案はすべて承認されました。

I ① 2025 年度事業報告 ② 2025 年度収支決算報告 ③ 監査報告

II ① 2026 年度事業計画 ② 2026 年度収支予算

他 2025 年度全国総会決算報告、監査報告

◆運営体制◆ 2025 年度に引き続き次のメンバーです。

<役 員>

支部長	五十嵐由利子
副支部長	大淵智絵 (書記・会報担当) 鈴木裕美 (支部奨学賞担当)
会計	登坂美江子 仲川幸子
書記	吉谷美知子 (1 名欠員)

<監 事>

阿部美知子 田代信子

<部 会>

男女共同参画部

部会長 高橋令子
副部会長 小野美知子

国際交流部

部会長 鈴木裕美
副部会長 吉谷美知子

社会学習部

部会長 大淵智絵
副部会長 登坂美江子

親睦部

部会長 井上里恵子
副部会長 田代信子

◆交流団体などにおける当会推薦の役員◆

新潟県立大学後援会 顧問 五十嵐由利子
(公財)新潟県女性財団 評議員 五十嵐由利子

全国総会・UWAsia 参加報告

2026 年度大学女性協会全国総会等に参加して

新潟支部長 五十嵐 由利子

KKR ホテル東京で開催されました全国支部長会・第 15 回定時会員総会・全国総会・80 周年記念催事に支部長として参加してきました。会場でお会いした多くの会員の方から、昨年度の新潟での全国総会でのおもてなしに対して感謝の言葉をいただきましたことを、まずは支部の皆様にご報告いたします。

<全国支部長会 (5月16日 14:00~16:00) >

長谷川会長の挨拶から始まり、事前配付された議案書をもとに、「貸借対照表および正味財産増減について」と「2025年度公益目的支出実施報告」の説明がありました。続いて本部からのお知らせとして、最初に「国内奨学生の募集について」で、各大学へメールでの推薦依頼について丁寧な説明がありました。次に、会員委員会から各種申込書の配付と説明のほか、に会員人数と年代別の図表が示されました。2011年(旧法人最終年度)の人数から現在は半減、高齢化も進み、2026年5月段階で80代、70代が最多になっていることに、各支部とも厳しい現状を再確認しました。

その後、グループディスカッションになり、私は札幌支部と仙台支部、そして鈴木理事との4人のグループでした。やはり会員の高齢化と実質活動できる人員の固定化が共通の課題でした。新潟支部から支部奨学賞募集の論文テーマ「ジェンダー平等について」へのアドバイスをと提案したら、国内奨学生が「研究センター」なので、支部独自の観点での評価でよいのではという意見をいただきました。

また、最後に会長から「移行期間終了後、このまま一般社団法人でいくのか、公益財団法人にするかの議論を始めている。ただ、支部との関係はあまり変わらない。」との話がありました。



KKR ホテルからの景色

<第15回定時会員総会・80周年記念講演会・全国総会 (5月17日 9:30~16:30) >

定時会員総会では、議案はすべて承認されました。なお、第2号議案 理事14名選任(5名の新任理事)ならびに長谷川現会長を会長候補とする提案も承認されました。最後に、次期開催地と日程について、茨城支部が担当で、水戸での開催とし、2027年5月14日(金)支部長会、5月15日(土)総会、16日(日)研修旅行を計画との報告でした。

講演会は一般公開で開催され、加藤陽子氏(東京大学名誉教授)による「過去を振り返る時、歴史が生まれる 一戦後 80 年の意味と日本の近代」というテーマで大変精力的に話されました。迫力ある話に引き込まれ、記録がおろそかになりましたので、本部の報告で替えさせていただきます。

全国総会では、2026-27 年度の理事・監事・会長の紹介と新会長の挨拶のあと、「HERitage 80」(80 周年記念誌)をもとに、各担当者から、1 ページごとに説明がありました。みなさまのお手元にも届いたかと思います。



高橋会員、五十嵐支部長



歴代会長のあいさつ

<80周年記念懇親会 (同日 17:00~19:30) >

皇居の緑が上から見渡せる素晴らしい会場で、会長挨拶の後、アトラクション「無伴奏 チェロの夕べ」として、海野幹雄氏による演奏とお話がありました。チェロのガット(素材が羊の腸だ)の説明と年代が異なる 2 種のチェロについて、その特徴の説明と演奏があり、音色の違いを生で鑑賞できた貴重な時間でした。その後、会食、歓談、そして支部紹介は西の方から始まりしました。会員総会から参加の高橋令子会員と二人で前に立ち、昨年の全国総会のお礼を述べ、楽しんできました。



JA UW 全国総会研修旅行と第 11 回 UWAsia-Tokyo 総会に参加して

高橋 令子

< 東京研修旅行 (5 月 18 日 9:00~15:30)、UWAsia 歓迎レセプション(同日 17:30~20:00) >



浜離宮で

今年の研修旅行は、東京を紹介しながらアジア・アフリカ加盟国からの参加者と一緒に国際交流をする有意義な会となりました。総会会場となった KKR ホテル東京から朝早く出発したバスは、皇居脇の大通りを抜け、国会議事堂、東京タワーを車窓で眺めながら、バスガイドさんの説明を聞きました。国際支援担当理事の大井恭子さんが全日通訳を務めてくださいました。私は、東京は住んだこともありますが観光はあまりしたことがなく、知らないことが沢山あり、興味津々で説明に聞き入りました。最初の見学地は浜離宮でした。夏日でしたが、緑と水の広大な元徳川将軍家の庭園を奥まで歩きました。松と鴨が似合う庭園でした。

その後はレインボーブリッジを通して浅草寺を見学。ここも奥の社殿まで往復する時間しかなく「お土産を買わないように！」と固く言われて歩いていた外国のお客様にはちょっとお気の毒でした。平日なのに境内は一杯で、外国の旅行客の着物姿が目立ちました。ランチは東京スカイツリータウン・ソラマチで。各テーブルに海外からの参加者も同席し、会話しながら交流できました。私の向かいにインドのベジタリアンの方がいてステーキランチが食べられず、後で野菜のソテー盛り合わせが出されましたが、あらかじめわかっていたら良かったのに、と思いました。午後はホテルに戻り疲れをとって、夜は歓迎レセプションでした。インド、ネパール、ザンビアなどからの参加者の鮮やかな民族衣装が並び、日本食のバイキングでした。司会と通訳をされた神戸支部のケイ・フォランさんは、軽やかに和やかにパーティを進めてくださいました。



報告会場でアジア・アフリカからの参加者とともに



スカイツリーでのランチ



研修旅行のスタッフ達

P2~4 Photos by
Reiko Takahashi

< 第 11 回 UWAsia (アジア大学女性連盟) 総会と研究報告 (5 月 19 日 9:00~15:00) >



前回の総会が日本で開催されたのは 1999 年だそうです。今年の東京総会での研究発表のテーマは「ウェルビーイングと環境」です。会議は 5 月 19 日と 20 日に渡りましたが、私は第 1 日目に参加させていただきました。入口で配付された資料の他に、水引で作成されたブローチが配付され、歓迎の気持ちをこの記念品にこめてくださいました。神戸支部の会員さん作成だそうです。

午前中は、一原雅子さんによる基調講演「市民主導による法創造: wellbeing と環境を守るために」、インドの「室内環境の質と家族の wellbeing: 教育介入による主婦の知識向上」、「ネパールの女性の精神的健康: ジェンダー、環境、そして構造的暴力」でした。午後は、GWI 会長のビデオメッセージ、アジア NFAs からの報告、次期議長国ネパールからの挨拶、インドの「エコ繊維の革新: 環境回復と wellbeing のための農業廃棄物の高付加価値化」「ザンビア Kapishya 温泉における治療的特性と文化的意義」でした。

私が興味をひかれた発表は、インドの「農業廃棄物の高付加価値化」です。イラン戦争の影響で、プラスチックの原料が手に入りにくくなりました。今までも環境上大いに問題があったプラスチックに頼らない製品の開発は急務です。発表者は、インド農産物の中で、パイナップル葉繊維、ハス繊維、オクラなどの天然繊維を補強材、工芸品などに利用する道を探っています。廃棄物の減少と付加価値化を同時に実現できるか、今後が楽しみです。その他の詳細については本部の報告をご覧ください。開催地東京支部の皆様や鈴木千鶴子国際ネットワーク委員長をはじめとした委員の皆様方のご尽力に感謝いたします。



UWAsia 総会での研究発表



持続可能な未来へ

「Jカフェ」👉注目です！

「J カフェ～JAUW ヒューマンリソース活用プログラム」は、本部が主催して生涯学習委員会で実施するオンライン学習会です。会員の持てる力を発揮して頂く機会として年に数回開催されます。去る 7 月 11 日は、第 20 回目として東京支部会員で西九州大学名誉教授の香川せつ子さんのご講演「知られざる戦前期女性の国際ネットワーク～女子教育パイオニアの留学と戦後の女子大学創設～」でした。当会の創設にまつわるお話しも含まれる有意義なものでした。

今回は 11 月 28 日(土) 14:00～16:00 岡山支部会員で介護施設代表取締役である杉村洋子さんによる「介護の現場は今～ともに生きる～」です。参加費 1000 円は、当会の運営資金として活用されます。積極的にご参加くださいますようご案内します。

(生涯学習委員 高橋、登坂)

*高橋令子さん、登坂美江子さんは、この春より本部生涯学習委員に就任されました。



東京研修旅行の車窓から



支部の動き 3月～8月 おもなもの

【3月】

3/5 2025 年度第6回役員会・運営会議
3/10 会計監査
3/25 2025年度第7 回役員会・運営会議
3/25 新潟支部会報No.16 発行

【4月】

4/25 2026 年度支部総会 第1部:講演会 第2部:総会議事

【5月】

5/16 全国支部長会出席(五十嵐)
5/17 第15 回定時会員総会、講演会、全国総会及び懇親会出席
(五十嵐、高橋)
5/18～5/19 UWAsia 行事への参加(高橋)
5/18 新潟県立大学後援会総会に出席(五十嵐)

【6月】

6/3 2026 年度第1 回支部役員会・運営会議
6/3 2026 年度支部総会欠席者へ報告等を送付
6/9 新潟県女性財団評議員会出席(五十嵐)
6/10 国内奨学生推薦依頼を各大学に送信(五十嵐)
6/15 新潟支部ウェブサイトの更新
6/17 本部・国際ネットワーク委員長からオンラインセミナーの案内を支部会員に案内
6/22 第20 回Jカフェの案内を支部会員に案内

【7月】

7/1 支部奨学賞応募依頼を各大学に送信(鈴木)
7/11 Jカフェ講演会(本部生涯学習委員会主催)に参加(高橋・登坂)

【8月】

8/26 第2 回役員会・運営会議
8/26 新潟支部会報No.17 発行
8/29 オンライン全国支部長会(大淵:代理出席)

お知らせ

【本部より】

- 2026 年度 JAUW 公開シンポジウム「ウェルビーイングと環境～ユースとジェンダーの視点から～」
会場 エッサム神田ホール1 号館 Zoom 参加も可能 参加費 1,000 円 学生無料
▶10 月 17 日(土)10:30～16:30 基調講演、パネルディスカッション、懇親会
基調講演「プラネタリーヘルス入門ー地球と人類の健康のためにできることー」
講師 國井 修 氏 (公社)グローバルヘルス技術振興基金 GHIT Fund CEO、医師

【新潟支部より】

●第 77 回新潟支部奨学賞授与式

2026 年 11 月 28 日(土)11:00 より開催 会場 ホテルサンルート新潟
授与式の後に受賞者を招いて昼食会も行います。ぜひご参加ください。

●2026 年度支部奨学賞の募集について

新潟県内の大学の各学部・大学院で学ぶ女子学生を対象に新潟支部奨学賞を贈呈します。今年度の応募小論文テーマは「ジェンダー平等社会実現のためにすべきこと」です。応募受付期間は 9 月 1 日～9 月 25 日。要項・応募書類のダウンロードは下記の大学女性協会ウェブサイト新潟支部のページから。



◆JAUW 本部ウェブサイト

毎月 15 日に更新 最新情報は news ページからどうぞ
<https://www.jauw.org/>



◆新潟支部のページ

支部の最新情報と過去の資料
https://www.jauw.org/works_category/nigata/

会報担当/大淵、三上、吉谷

新潟支部会報 No.17

(一社) 大学女性協会新潟支部
支部長 五十嵐由利子

<http://jauwniigata.blog.fc2.com/>

お問い合わせもこちらから

発行日 2026 年 8 月 15 日